

エリアブランディング構想の 作成イメージについて



(1)エリアブランディング構想の骨格

- エリアブランディング構想の構成案は次のとおり想定しています。
- 第1回研究会では、**1～4まで**を示します。
- 今後、4～6について各団体の中堅や若手世代との意見交換を行い、第2回研究会で示す予定です。

項目	記載内容
1. はじめに	構想の目的、 期間、役割 等を明記し、研究会名称で15年後のビジョンを描くことの共通認識を得る
2. 現況と課題	これまでの調査成果を示し、 地区の現況と課題を共有 する 1と2を踏まえ、アンケート・ヒアリング結果等の生きた情報も交えながら、 地区の魅力と課題を整理 する。
3. 将来都市像の設定	15年後の都市将来像を設定し、目指すべき成果目標および数値目標について設定する。
4. 将来の方向性	上記を踏まえ、 地区の将来都市像を示し 、エリア別のまちづくりの方向性につなげていく
5. エリア別のまちづくりの方向性	本港周辺、TOTOCO周辺、早川駅周辺の将来のまちづくりの方向性 を示す
6. 実現に向けた取り組み方策	公民の連携や海と山が連携した取り組みの方向性 社会実験等を通じて実現を目指していく 当面(短期的に)取り組むべき事項 など

(2)はじめに

■構想の目的と位置づけ

- 第6次小田原市総合計画における早川エリア周辺に関連する詳細施策である「水産市場の再整備」や「美食のまち」の事業化を見据え、公民連携による魅力あるまちづくりにつなげるため、エリアブランディング構想を策定することを目的とする。
- 本構想の構想年次は2040年頃とし、関係者の意向等を取りまとめ、今後のまちづくりの指針を示す。
- 策定者は研究会であり、任意の計画という位置づけとする。

■対象区域

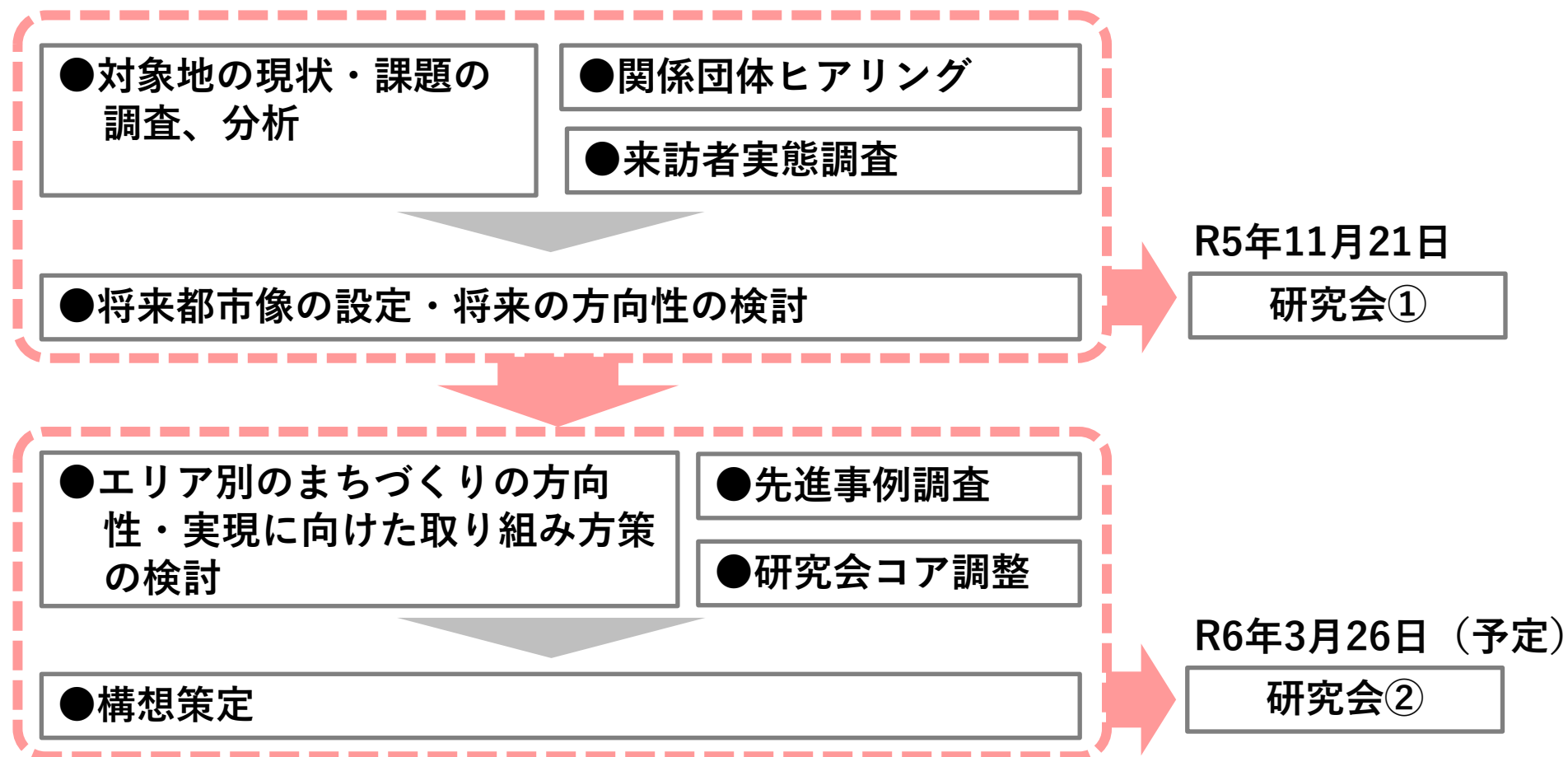
- 構想の対象エリアは二級河川早川～西湘バイパス(石橋IC)付近であり、特に小田原漁港(本港、新港、西側エリア)及びJR早川駅エリア周辺における今後の重点的な取組みを示すものとする。



(2)はじめに

■構想検討の流れ

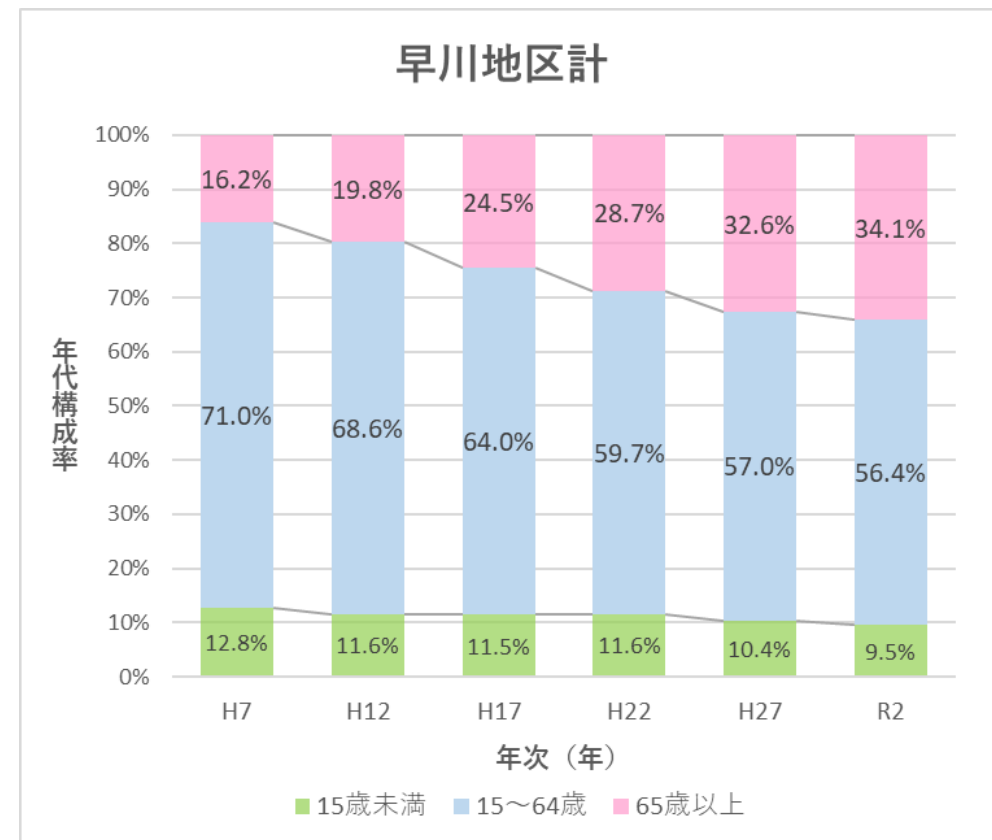
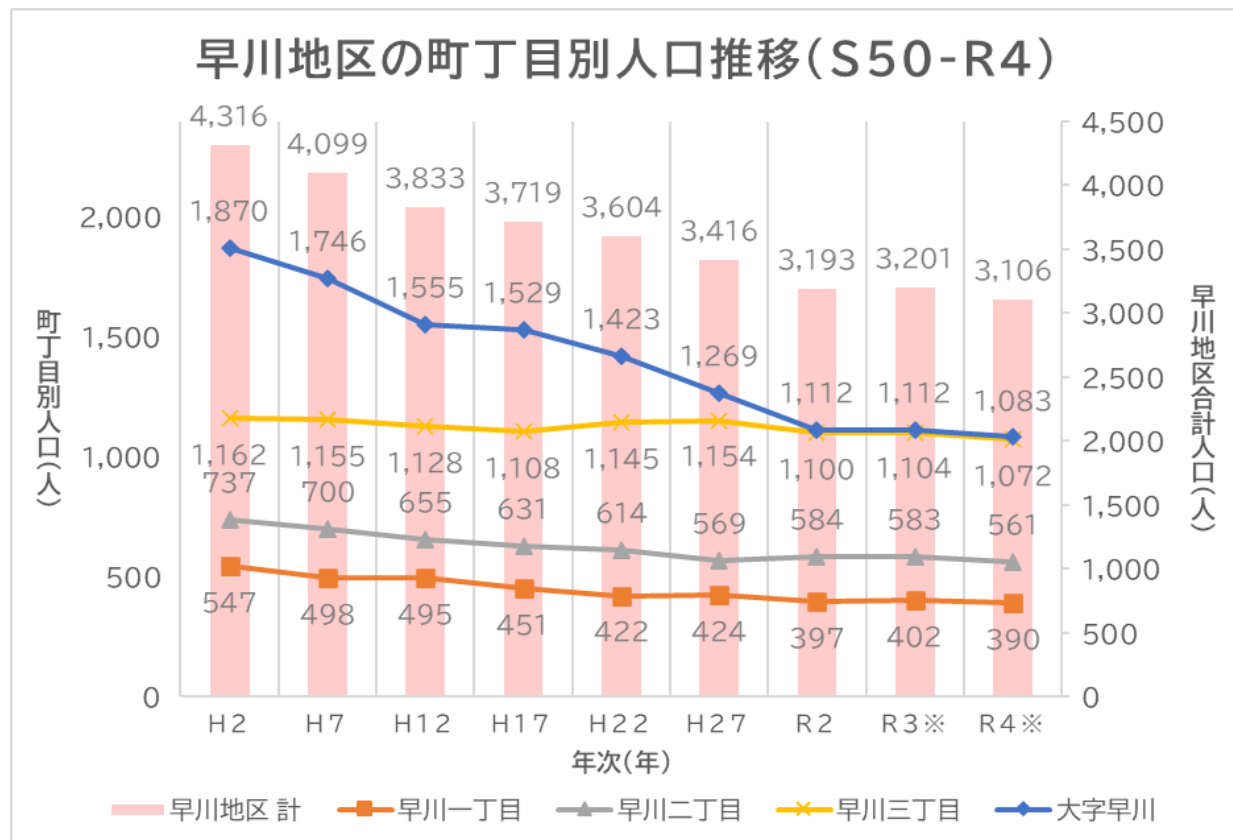
- 第1回研究会では、これまでの調査・関係団体ヒアリング結果をもとに作成した将来都市像や方向性について意見交換を実施
- 本日の結果や今後の取組み方策等を検討し、研究会コア調整等を踏まえて第2回研究会を実施



(2)①早川地区の現況と課題

■早川地区の人口・世帯数(H2～R2)

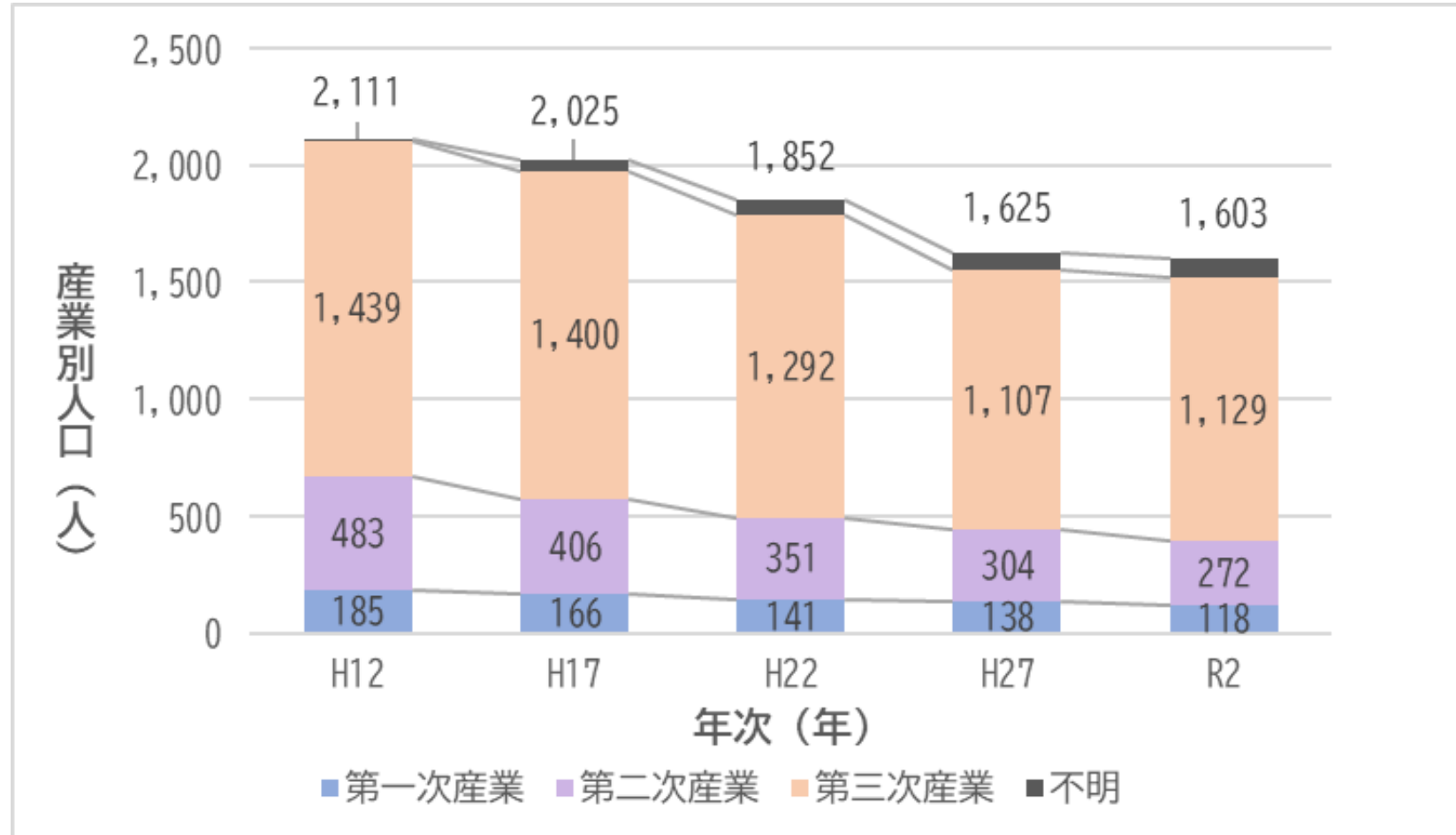
- ・ 早川地区全体で減少傾向にあり、特に大字早川(早川駅以南・山間部)で減少が著しい。
- ・ 早川一丁目(漁港周辺)および早川二丁目では緩やかに減少傾向が続いており、早川三丁目では概ね横ばいで推移している。
- ・ 年齢構成は15歳未満人口および15～65歳人口の割合が減少傾向にあり、65歳以上人口は増加傾向にある。



(2)①早川地区の現況と課題

■早川地区の産業別人口

- ・ 第一次産業、第二次産業就業者の人口は減少傾向を続けている。
- ・ 第三次産業も平成27年度までは減少傾向だったが、令和2年には増加している。



出典：各年国勢調査

(2)①早川地区の現況と課題

■早川地区の主要施設の入込観光客数

- 施設別の早川地区の「漁港の駅TOTOOCO小田原」への入込観光客数は、R1.11の開業以降増加傾向にある。
- 「石垣山一夜城」の入込観光客数は概ね横ばい、「小田原さかなセンター」は減少傾向となっている。

(単位：千人)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
漁港の駅 TOTOOCO小田原	未開業	未開業	未開業	75	398	485	645
石垣山一夜城	—	—	73	79	92	83	82
小田原さかなセンター	360	389	373	348	305	277	274
(参考)小田原城天守閣	605	876	629	625	302	294	568
(参考)小田原城城址公園	3,216	3,238	3,108	3,235	1,339	1,616	2,426

出典：神奈川県入込観光客調査

(2)①早川地区の現況と課題

■活かしていきたい地域資源

- ・ 平安中期ごろ畿内の轆轤師集団が現在の早川に土着して木地挽業を始め、現在も市内の多くの工房に引き継がれている。
- ・ 紀伊神社では毎年6月に木地挽の祖とされる惟喬親王を祀る惟喬祭が催行されている。
- ・ 丘陵地では、地形を利用した段々畑で柑橘栽培がおこなわれている。



●	木工所	木工所（箱根物産 連合会加盟の木工所）	歴史的風致を 形成する建造物
■	木工所	木工製品の主な展示・販売所	
●	木工所	木工業が集積する範囲	
●	紀伊神社の祭礼	木工業に関わる紀伊神社	
///	紀伊神社の祭礼	神木の枝が玄関先によくみられる範囲	
■	紀伊神社の祭礼	木工業に関わる神社の祭礼の範囲	



轆轤を用いた挽物加工



柑橘が栽培される斜面地の段々畑



紀伊神社と社叢



現在の惟喬祭

出典：小田原市歴史的風致維持向上計画

(2)①早川地区の現況と課題

■交通アクセス

- ・ JR早川駅から徒歩圏に本港やTOTOCO小田原が立地している。
- ・ 水産市場は、国道135号のほか、早川ICから早川橋経由での車両アクセスが可能であるが、駐車場周辺は混雑が生じやすい状況にある。TOTOCO小田原は、国道135号以外のアクセスを取りにくい状況である。

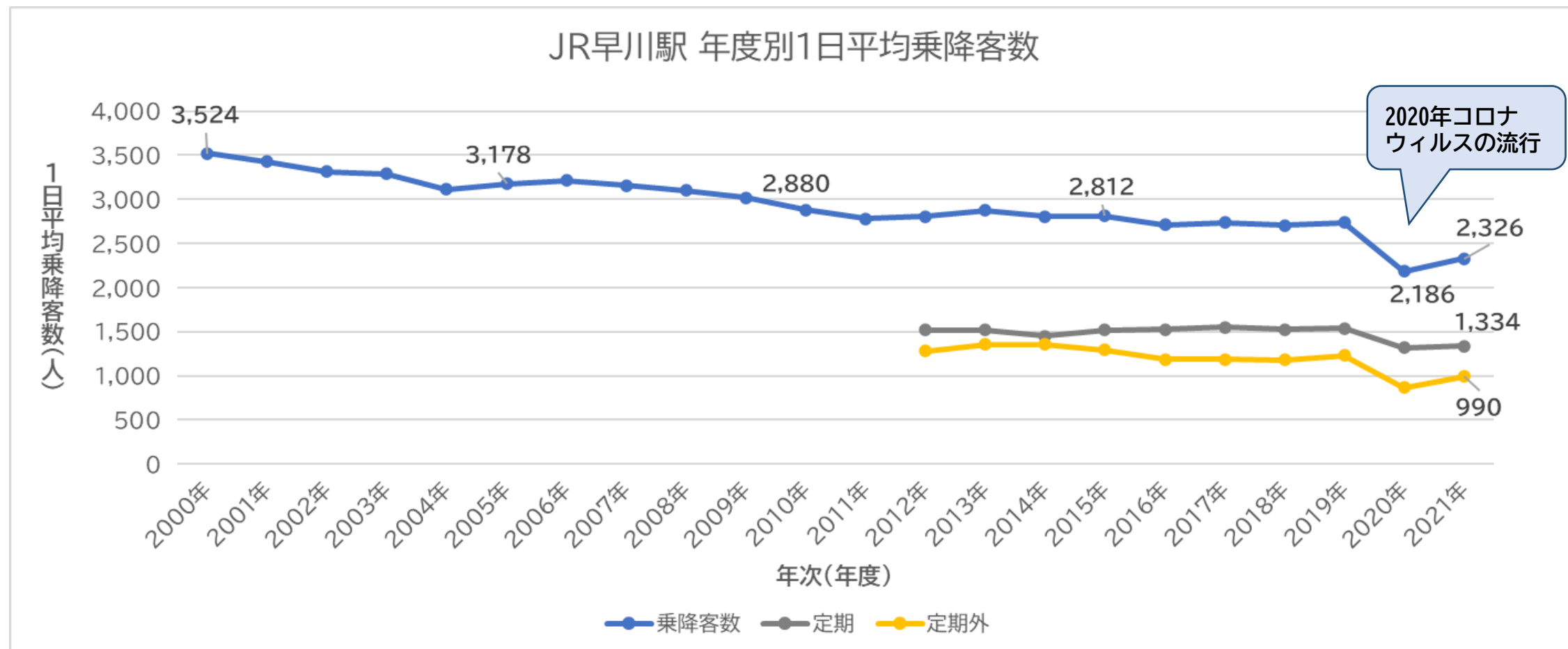


(2)①早川地区の現況と課題

10

■交通アクセス

- ・ JR早川駅の乗降客数は、2000年以降、乗降客数は減少傾向にあり、利用者の内訳は、定期利用が定期外利用を上回っている。

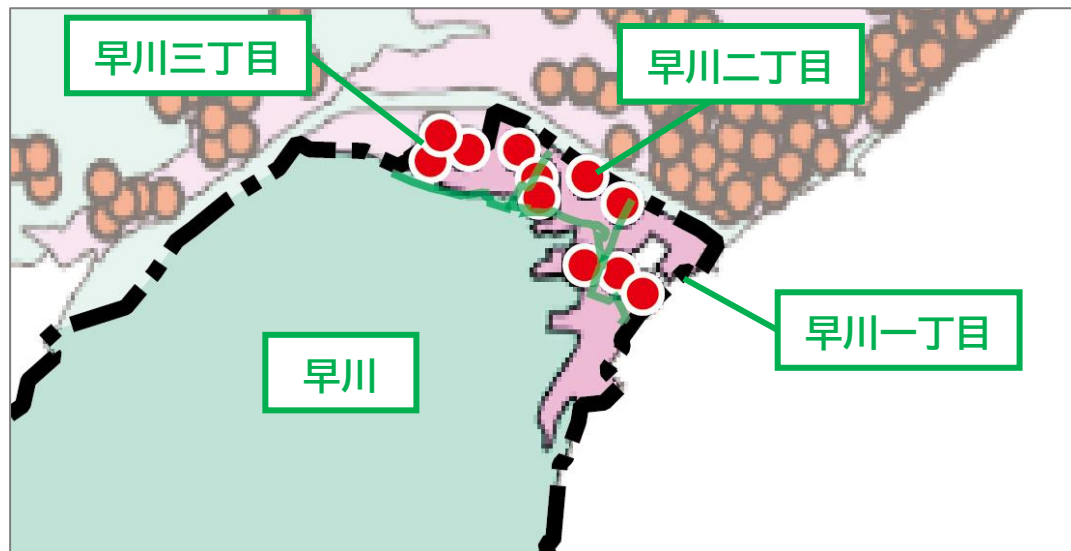


JR東日本ホームページを基に作成

(2)①早川地区の現況と課題

■空き家の状況

- 早川エリア内では、市街化区域内に空き家が分布している。
- 特に早川二丁目では、空き家率が2.19%となっており、市全体平均値より高くなっている。



早川二丁目の様子：一夜城通り沿道は店舗や低層の建物が立ち並ぶ。早川小学校の周りは低層住宅地となっている

	建物棟数（棟）	空家等（棟）	空家率
早川	1,460	1	0.07%
早川一丁目	209	2	0.96%
早川二丁目	228	5	2.19%
早川三丁目	441	4	0.91%
市全体	82,326	1,389	1.69%

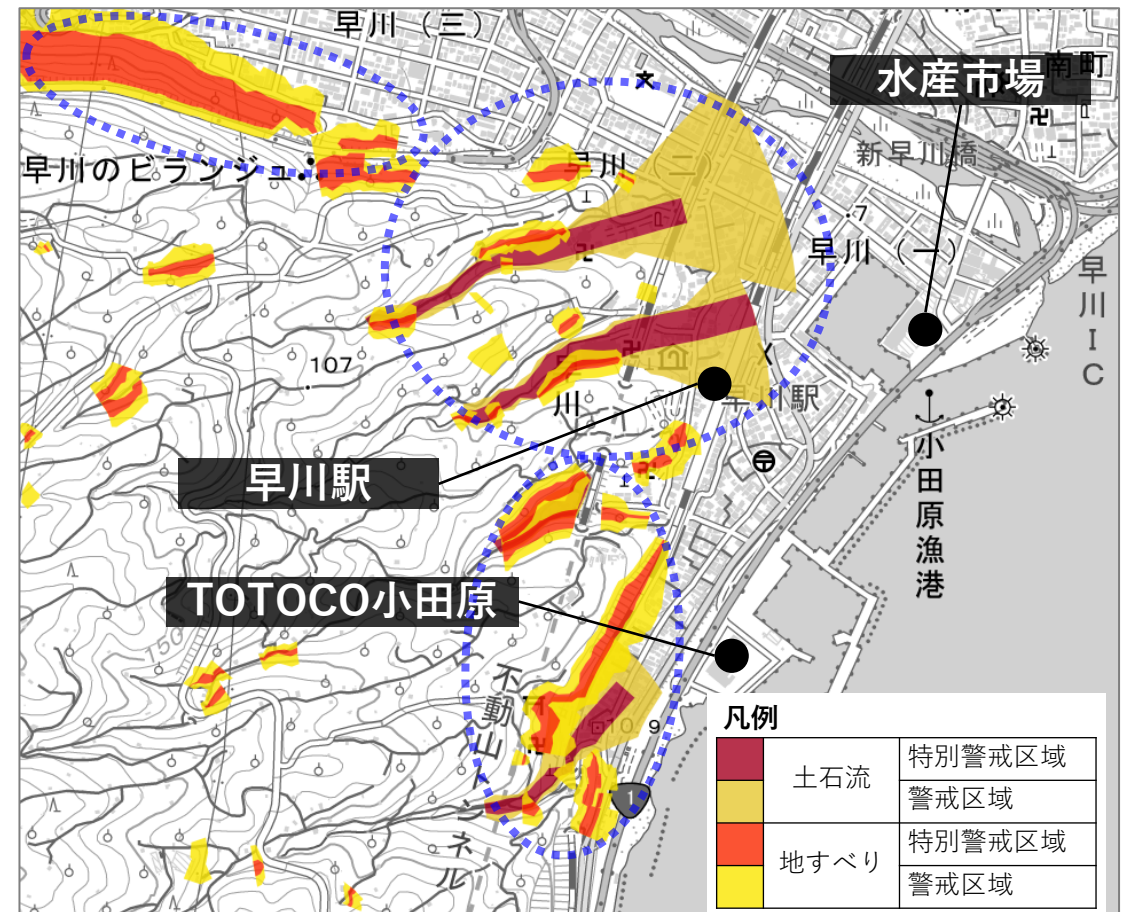
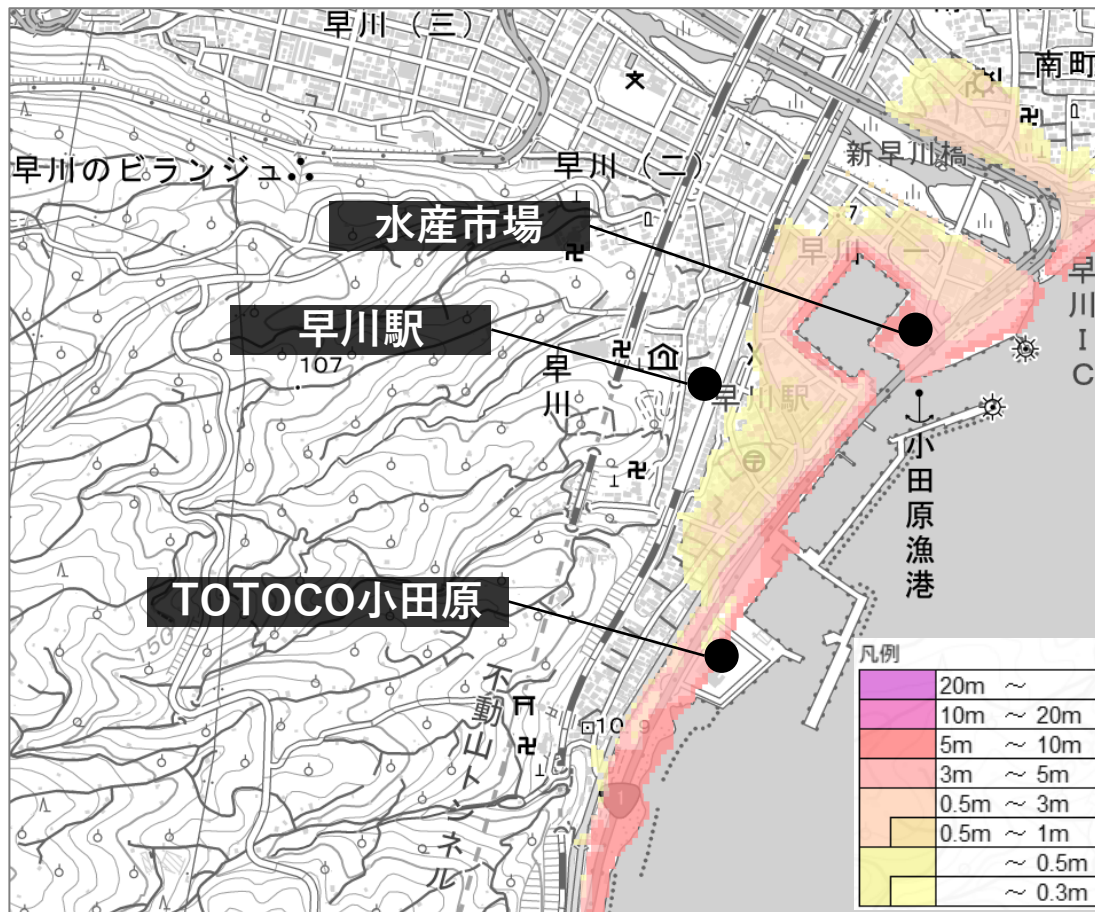
（小田原市空家等対策計画を基に作成）

(2)①早川地区の現況と課題

12

■自然災害の危険区域

- 海側の津波、斜面地の土砂災害等、海側・山側それぞれに危険区域があり、発災の状況に応じて海側・陸側の動線確保が求められる。
- 災害リスクの実態を地域関係者で常に共有しあうことで、平常時からの緊急対応に向けた意識付けやルールづくり、災害時の各団体の連携対応に向けた関係づくりが重要である。



出典：国土地理院「重ねるハザードマップ」

(2)②早川地区の来訪者の状況(アンケート調査)

13

■アンケートの実施概要

- ・ エリアの来訪状況に加え、来訪者視点での良いところ、あると良い機能等について想いを引き出すことが目的
- ・ 夏季(8月)及び秋季(10月)に3地点でアンケートを実施

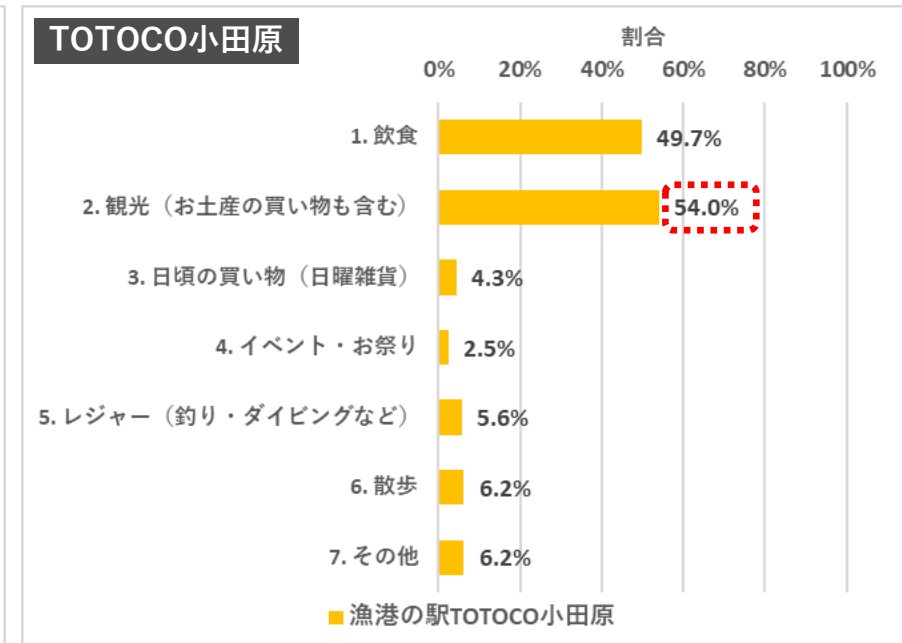
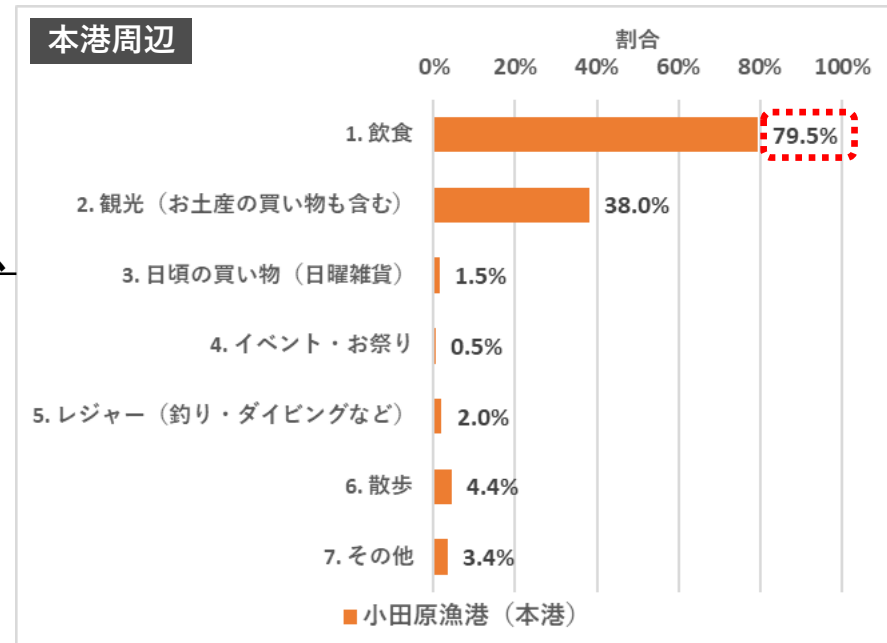
- 早川エリアの来訪頻度、目的、主な交通手段
- 早川エリア内の目的地、滞在時間
- 早川エリアの良いと思うところ
- 早川地区のあってほしい出来事・移動手段・体験 など

	本港周辺	TOTOCO小田原	早川駅前
夏季(8月26日)	75人	108人	30人
秋季 (10月28, 29日)	130人 (周辺店舗分55含む)	53人 (周辺店舗分4含む)	47人
合計	205人	161人	77人

※周辺店舗は10/28～31で実施／TOTOCO小田原は10/28のみの実施

■地区への来訪目的

- ・ 本港周辺では、「飲食」が特に多くなっている。
- ・ TOTOCO小田原では、「観光(お土産の買い物含む)」が最も多く、次いで「飲食」が多くなっている。



(2)②早川地区の来訪者の状況(アンケート調査)

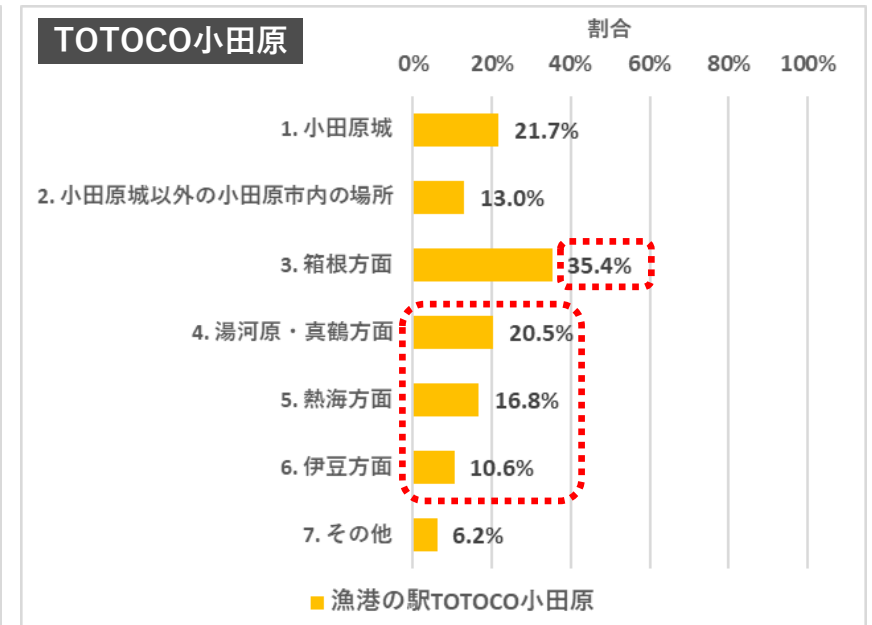
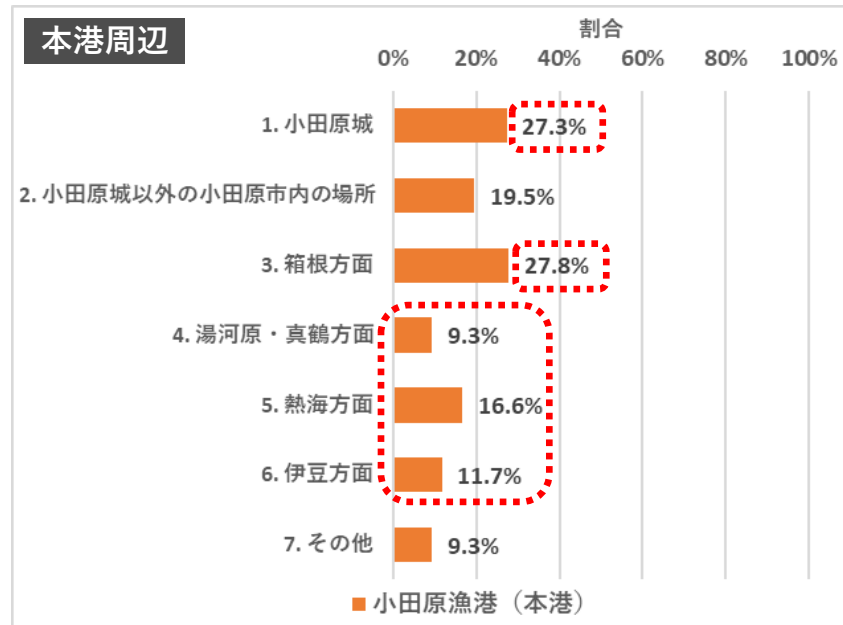
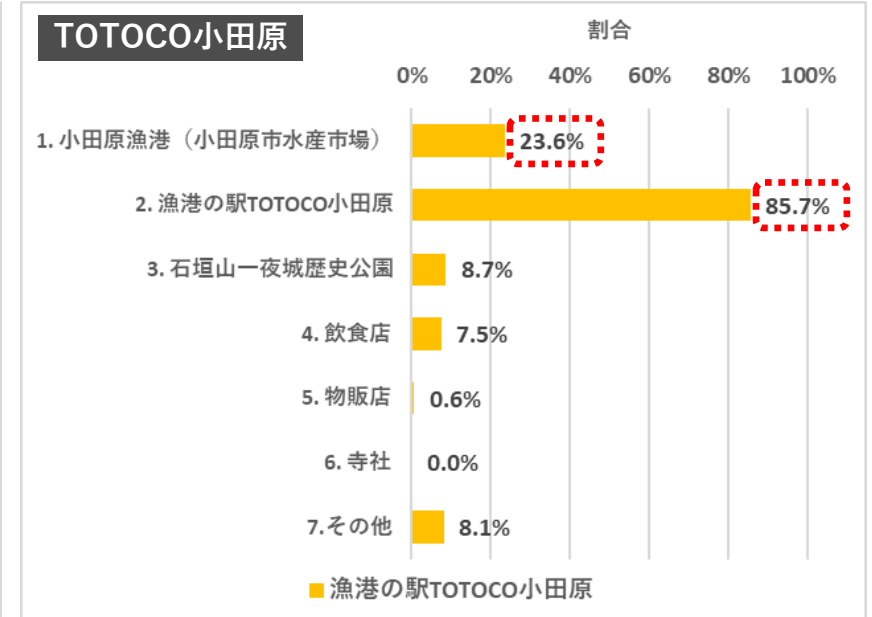
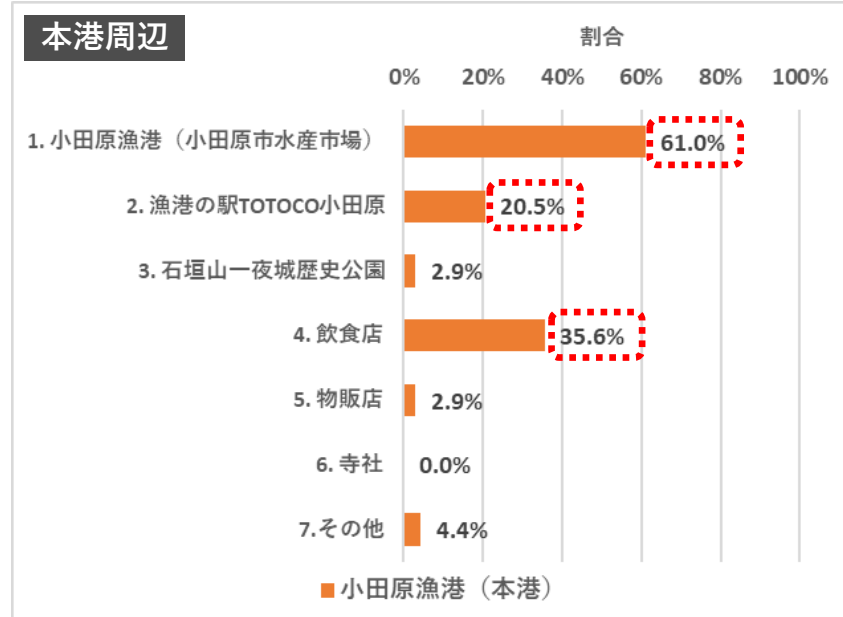
14

■地区内の来訪先

- 本港周辺、TOTOCO小田原いずれもエリア内の来訪先が多くなっている。
- 本港エリアとTOTOCOエリアの往来は、それぞれで約2割程度ずつとなっている。

■地区外からの来訪先

- 本港周辺、TOTOCO小田原いずれも箱根エリアが最も多くなっているが、本港周辺では小田原城方面も多くなっている。
- 湯河原・真鶴、熱海、伊豆方面については、本港周辺、TOTOCO小田原いずれも10～20%程度ずつとなっている。

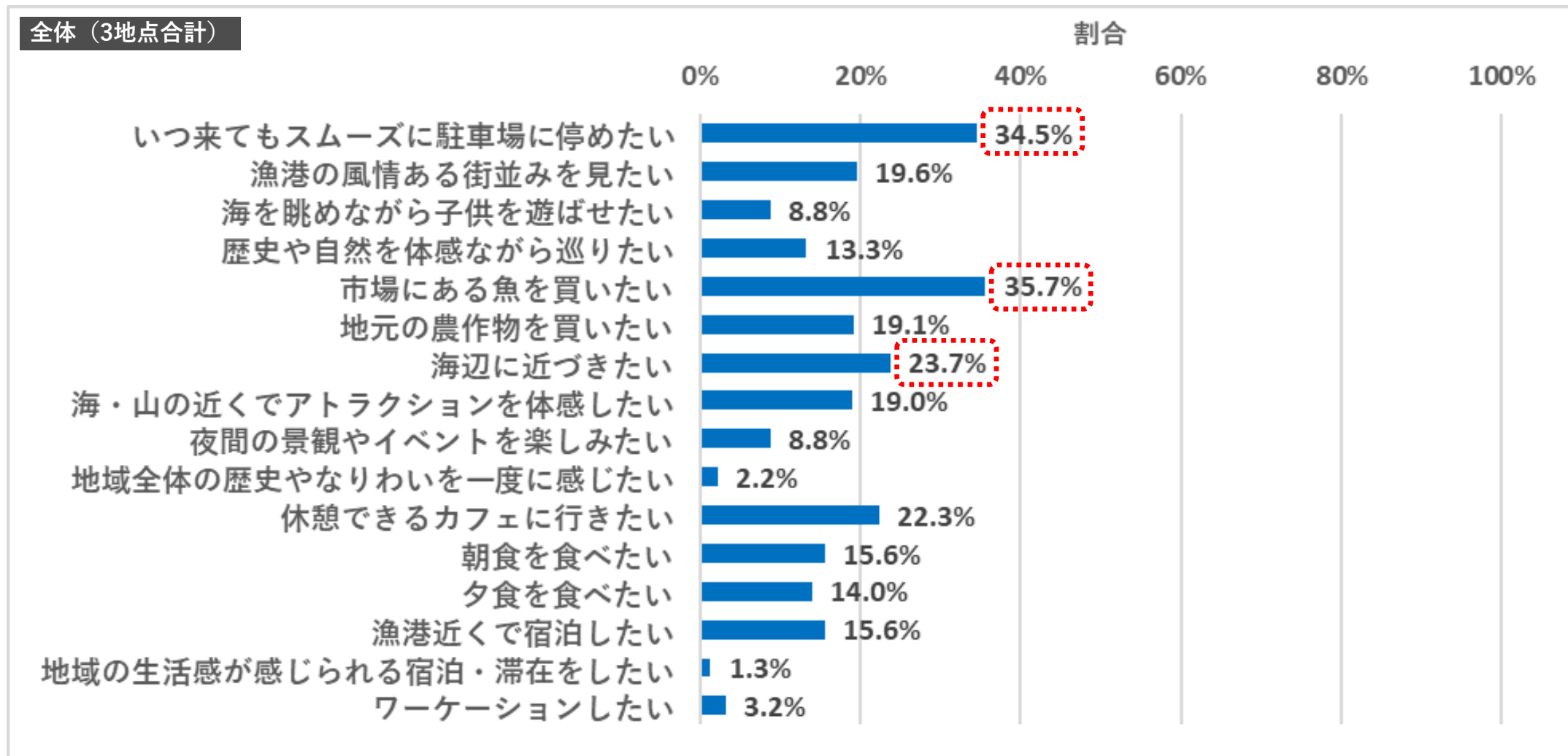


(2)②早川地区の来訪者の状況(アンケート調査)

15

■来訪者が地区内にあると良い出来事・場所

- ・「市場にある魚を買いたい」が最も多く、次いで「いつ来てもスムーズに駐車場に停めたい」「海辺に近づきたい」が多くなっている。

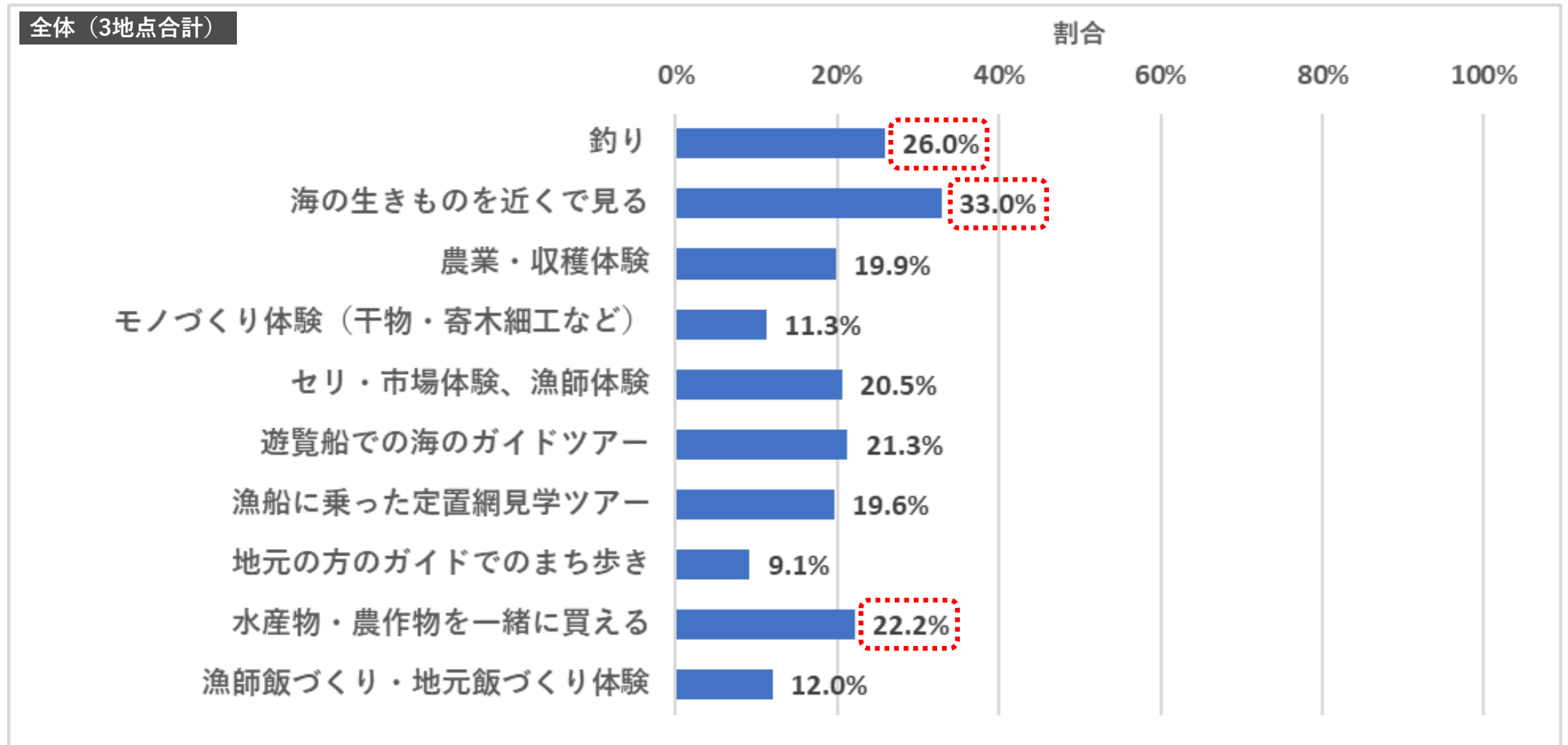


(2)②早川地区の来訪者の状況(アンケート調査)

16

■来訪者がやりたいと思う活動・体験

- ・「海の生きものを近くで見る」が最も多く、次いで「釣り」「水産物・農産物を一緒に買える」が多くなっている。



(2)③関係団体ヒアリング

17

■早川エリアのポテンシャルと課題

多様な地域の魅力

- 海と山が近く、良好な景観
- 一夜城、木工業をはじめとする歴史
- 「住環境の改善」と「産業や観光の活性化」の両立



海辺のアクティビティ

- セリや海の生きものに触れられる漁港ならではの体験
- 海岸整備等による水辺の体験創出への期待



交通環境の改善

- 国道135号における渋滞
- 地区内の駐車場不足（長時間駐車への抑制、朝夕の来訪時間の分散等）
- 漁港周辺の歩行者安全性の確保



食の豊かさ

- 魚種が豊富、鮮度が良い
- 盛んな柑橘栽培
- 食のレベルが高い土壌



住み良い住環境

- 自然の豊かさを感じる住宅地
- 来訪をきっかけに地域に根づく移住者



小田原城等との往来促進

- 来訪者を誘引する目的地化
- 移動手段の確保
- 地区内で宿泊できる場所の創出



(2)③関係団体ヒアリング

18

■エリアごとの特徴

- ・県道724号の歩いて楽しい道づくり



早川駅周辺 エリア

- ・駅のバリアフリー化、駅北側へのアクセスの確保
- ・交流の場の醸成
- ・駅前の景観イメージの醸成



TOTOCO 小田原周辺 エリア

- ・地元の食材を知り・買う
楽しみの提供
- ・多目的広場をより楽しむ
環境づくり
- ・海でのアクティビティの
提供



本港周辺 エリア

- ・アクティビティによ
る本港とTOTOCO
小田原の回遊促進



- ・個性的な店舗群のイメージ
- ・地域の顔となる場づくり
- ・水産業を感じられる場づくり
- ・海を眺める場づくり
- ・河川沿いの魅力づくり
- ・民有地の利活用
- ・自動車交通・二次交通の環境づくり

(3)現状を踏まえてまちづくりで考えていくべき事項

19

食のポテンシャルを 活かした賑わいづくり

- 水産市場の再整備を契機に、地域に関わる人々や来訪者とまちの魅力を共有するために、美食のまちづくりと連携した食材や店舗を活かした個性を磨くことが必要

くらし、はたらき 続けられる地域づくり

- 若年層を中心に地区との接点を増やして担い手の創出を促すとともに、生活環境を整え、住民や働き手等が安心して居続けられる環境を目指すことが必要

新たな体験・ アクティビティの充実

- 海・山・歴史等の多様な資源の活用やまちなみ・オープンスペースの魅力向上を展開し、新たな体験・アクティビティ創出を図ることが必要

交通混雑 の解消

- 交通混雑の解消のため、駐車場の集中緩和、鉄道利用への転換、近距離移動をサポートする二次交通の有効活用による地域の大きな課題解決への取り組みが必要

地域に関わる人々の 連携の促進

- 地区内外の往来を促しながら地域の活力を向上させるため、各団体同士や公民の連携力を高め、持続的な地域づくりを展開することが必要

(4)実現したいまちの将来イメージ

20

● 地産地消による四季を通じて「おいしい」まち

- ・ 相模湾の水産物、丘陵地の農産物を地域の店舗で住民や来訪者が触れられ、自然の恵みを感じることができるまち

● 地域の営みが継がれ、人々の交流が育まれるまち

- ・ 幅広い世代が穏やかな環境を感じながら安心して暮らし続けられ、地域のなりわいや活動を次の世代に引き継ぎながら、長く地域に関わる方々や新たに向かい入れる人々の交流が促されるまち

● 資源を活かした多様な楽しみを見つけるまち

- ・ 水辺・海辺のアクティビティ・体験、歴史や山の資源と触れ合う機会、様々な眺望等を回遊を通して楽しむことができ、住民が長く暮らしたいと感じ、来訪者が繰り返し訪れたいと思うまち

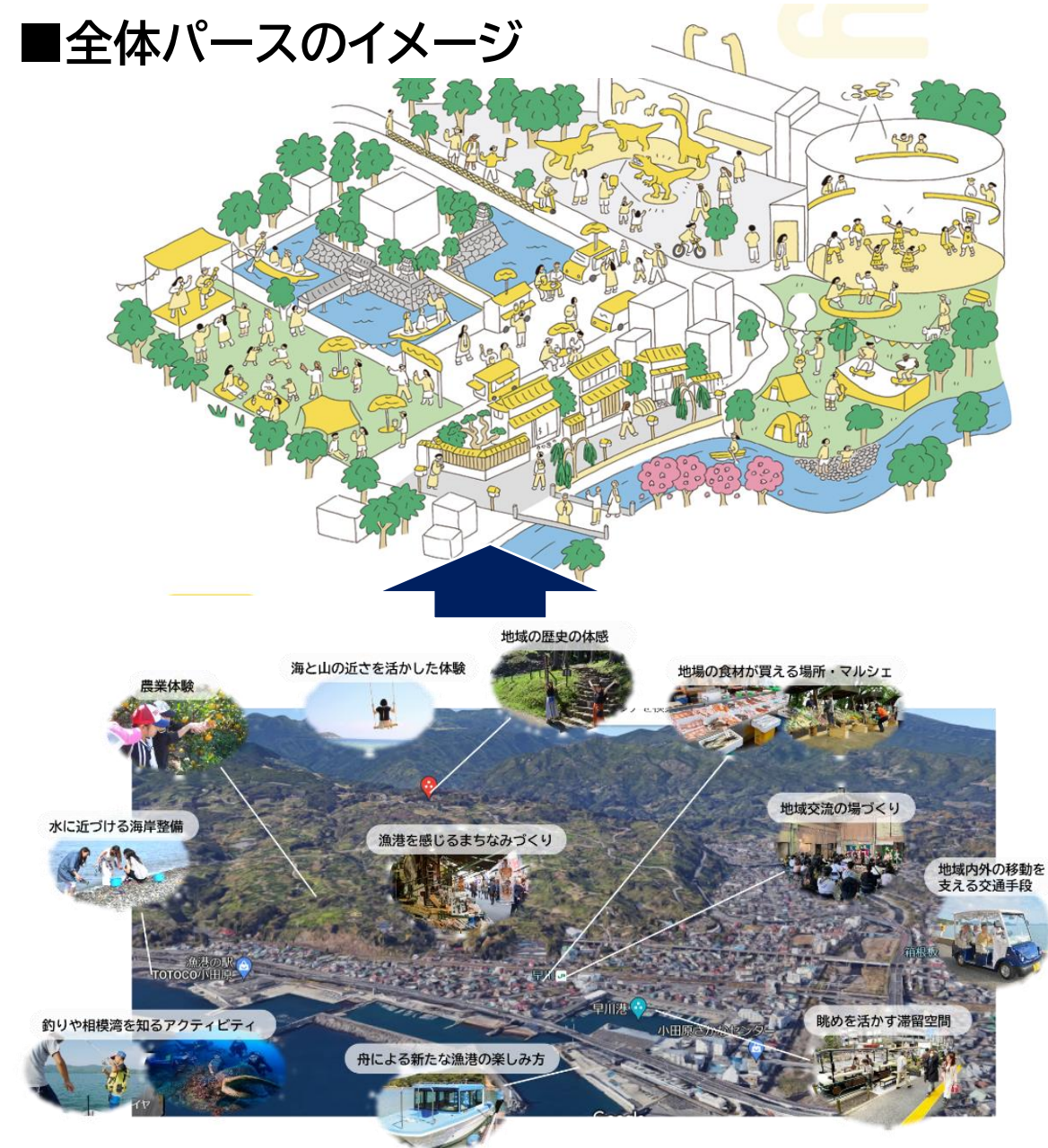
● 快適でなめらかに人々が行き交うまち

- ・ 住民・働き手・来訪者が地区内をスムーズに移動し、周辺地域との往来の活性化も図るために交通混雑の解消を目指し、自動車以外の移動手段の利用促進や歩行環境の向上に取り組むまち

● 様々な連携で新たなアクションが生まれるまち

- ・ 地域に関わる様々な団体や次世代の担い手が地域の良さを共有しあい、今ある資源の魅力を高めるための取組みを生み出すまち

■全体パースのイメージ



(5) 将来都市像の設定

- 地区の現況と課題、関係者及び来訪者ヒアリングを踏まえ、将来都市像の目標を次のとおり想定します。また、各目標に関係する主体を示します。

■ 担い手数 アップ

- 住民や水産・農業従事者の減少や高齢化が進行しているため、新たな担い手の確保を進めます

■ 消費拡大数 アップ

- 地産地消の促進やエリアの認知度向上により、水産物や農作物の消費拡大を進めます。

■ 回遊者数 アップ

- 本港周辺・TOTOOCO周辺の地区内の資源の来訪、一夜城や小田原城の往来の増加を図ります。

■ 駅の利用者数 アップ

- 二次交通やシェアサイクルの取組みの進展と、早川駅周辺の利便性向上により、駅利用者の増加を目指します。

■ 交通の円滑性 アップ

- 新たな駐車場の確保、来訪者の朝や夜、平日への分散、公共交通の利用促進等により、交通渋滞の緩和を進めます。

■ 居住者・店舗数 アップ

- 空き家や空き店舗の利活用を進め、新たな居住者や店舗の増加を目指します。

■ 自然災害への備え アップ

- 漁港や斜面地等の安全性の向上や避難行動の定着などにより、自然災害に対する備えを強化します。

